

2015年度 関西学院大学自己点検・評価 ＜A票＞第三者評価結果【教育学研究科】

A-1. 理念、A-2. 目的、めざす学生像、学位授与方針

| | | |
|-----------------------------|--|---|
| 【確認1】 | 「研究科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」は、「A-1. 学部の理念」に沿い、めざす方向性を適切に表現しているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 2名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育学研究科の理念は、一言「こども理解」となっており、「諸活動に対する基本的な存在理由」というには抽象的すぎるように思います。理念の性質上抽象的な記述にならざるを得ませんが、「存在理由」という言葉にふさわしい記述にすることが期待されます。(評価者 B) ・ また、「人材の養成に関する目的」は教育学部の「目的」に「高度な専門性によって指導的な役割を担うことのできる」という文言を加える形になっており、その他の記述に比べてやや曖昧な印象を受けます。(評価者 B) |
| 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | | |
| 【確認2】 | 「研究科の目的(Web サイト上)」は、A-2「研究科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」に沿った内容であり、社会に対して分かりやすい表現になっているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | | |
| 【確認3】 | 「めざす学生像」と「学位授与方針」は、A-2「研究科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」、「研究科の目的(Web サイト上)」と整合性が取れ、目的の実現に向けて相応しい内容となっているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | | |
| 【確認4】 | 学位授与方針は、学位授与にあたり、学位授与基準および当該学位に相応しい学習成果を明確に示しているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | | |
| 【確認5】 | 学位授与方針に基づく学習成果を測定するための評価指標を開発し、適切に成果を測るよう努めているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学位授与方針に基づく学習成果を測定するための評価指標の開発に向けて努力していただければと思います。(評価者 A) ・ 自己評価として率直に、「いいえ」をチェックしているのでこのように評価しました。学生の学修成果の評価指標の開発に努められることが期待されます。(評価者 B) |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | | |
| 【確認6】 | 目的、「めざす学生像」、「学位授与方針」は周知・公表されているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | | |
| 【適切性の検証体制】 | 適切性の検証体制を明確にしているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票> 第三者評価結果 【教育学研究科】

| | | |
|-----------------------------|-----------------------------|--|
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| 【検証 プロセス】 | 検証プロセスを適切に機能させているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 1名 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 改善・伸長に向けた計画のありなしにチェックが入っていません。検証プロセスを適切に機能させるシステム、制度の構築に向けて、検討をお願いします。(評価者 A) ・ 成果と計画にチェック漏れがあります。(評価者 C) |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 2名 | |
| 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | | |
| 【全体に対するコメント】 | | |

A-3. 教育研究目標

| | | |
|-----------------------------|---|--|
| 【確認1】 | 「教育研究目標」は、A-2「目的」、「めざす学生像」の実現に向けて、相応しい内容であるか、適切な表現であるか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| 【確認2】 | 「教育研究目標」は、教育の質向上に向けた意欲的な内容になっているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| 【確認3】 | 「教育研究目標」は、周知・公表されているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| 【適切性の 検証体制】 | 適切性の検証体制を明確にしているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| 【検証 プロセス】 | 検証プロセスを適切に機能させているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 1名 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価では率直に「機能させていない」としているため、適切であると考えます。今後、検証プロセスを機能させることが期待されます。その際、成果指標については、学位授与数だけでなく、学生の学習成果に関する指標を設けることが期待されます。(評価者 B) |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | | |

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票> 第三者評価結果 【教育学研究科】

| | | |
|--------------|-----------------------------|--|
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 2名 | <ul style="list-style-type: none"> ・「成果あり／成果なし」、「計画あり／計画なし」の項目にチェックがありません。検証プロセスを適切に機能させるためのシステム、制度を検討してはいかがでしょうか。(評価者 A) ・成果と計画にチェック漏れがあります。(評価者 C) |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| 【全体に対するコメント】 | | |

A-4. 教育課程の編成・実施方針

| | | |
|-------|---|---|
| | 教育課程の編成・実施方針は、A-2「めざす学生像」、「学位授与方針」、A-5「学生の受け入れ方針」と整合性が取れているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| 【確認1】 | 1. 適切な自己評価がされている …………… 2名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 1名 | <ul style="list-style-type: none"> ・研究科の【確認1】で、「いいえ」にチェックされていますが、本当にそうなのでしょうか。研究科の再編が予定され、それに伴って教育課程(カリキュラム)の改編がおこなわれるからでしょうか。しかし、そもそも研究科設置の目的や諸種の基本的な考え方、方針が変わるわけではないでしょうし、A-2「めざす学生像」、「学位授与方針」、A-5「学生の受け入れ方針」は以前そのままでしょうから、そもそも教育課程の編成・実施方針はこれらと整合性がとれるように作られている(構想されている)のではないのでしょうか。(評価者 A) |
| | 教育課程の編成・実施方針は、A-3「教育研究目標」の達成に向けて相応しい内容となっているか、表現は適切か。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| 【確認2】 | 1. 適切な自己評価がされている …………… 1名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成・実施方針は、現状の説明になっています。「教育研究目標」の各目標を達成するための考え方を示すことが期待されます。(評価者 B) |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 1名 | <ul style="list-style-type: none"> ・研究科の【確認2】で、「いいえ」にチェックされていますが、本当にそうでしょうか。(評価者 A) |
| | 教育課程の編成・実施方針は、教育課程の編成や、教育内容、教育方法等に関する考え方を明確に示しているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| 【確認3】 | 1. 適切な自己評価がされている …………… 1名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名 | <ul style="list-style-type: none"> ・確認2と同様です。(評価者 B) |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 1名 | <ul style="list-style-type: none"> ・研究科の【確認3】で、「いいえ」にチェックされていますが、本当にそうでしょうか。(評価者 A) |
| | 学位授与方針の内容を実現するために、教育課程の編成・実施方針は適切な内容となっているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| 【確認4】 | 1. 適切な自己評価がされている …………… 1名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成・実施方針は、現状の説明になっています。(評価者 B) ・学位授与方針の各目標を実現するための考え方を示すことが期待されます。(評価者 B) |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 1名 | <ul style="list-style-type: none"> ・研究科の【確認4】で、「いいえ」にチェックされていますが、本当にそうでしょうか。(評価者 A) |
| | 教育課程の編成・実施方針は周知・公表されているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| 【確認5】 | 1. 適切な自己評価がされている …………… 2名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票> 第三者評価結果 【教育学研究科】

| | | |
|-----------------------------|-----------------------------|--|
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 1名 | ・ 研究科の【確認 5】で、「いいえ」にチェックされていますが、本当にそうでしょうか。「履修心得」や WEB サイトで周知・公表されているのではないのでしょうか。(評価者 A) |
| 【適切性の 検証体制】 | 適切性の検証体制を明確にしているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …… 0名 | |
| 【検証 プロセス】 | 検証プロセスを適切に機能させているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …… 1名 | ・ 率直に機能させていないとされていますので、自己評価としては適切と判断いたしません。(評価者 B) |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …… 2名 | ・ 「成果あり／成果なし」、「計画あり／計画なし」の項目にチェックがありません。検証プロセスを適切に機能させるためのシステム、制度を検討してはいかがでしょうか。(評価者 A) ・ 成果と計画にチェック漏れがあります。(評価者 C) |
| 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | | |
| 【全体に対するコメント】 | | |

A-5. 学生の受け入れ方針

| | | |
|-------|---|--|
| 【確認1】 | 学生の受け入れ方針は、A-2「学位授与方針」、A-4「教育課程の編成・実施方針」と整合性が取れているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …… 3名 | ・ 教育学研究科の理念は、一言「こども理解」となっており、「諸活動に対する基本的な存在理由」というには抽象的すぎるように思います。理念の性質上抽象的な記述にならざるを得ませんが、「存在理由」という言葉にふさわしい記述にすることが期待されます。また、「人材の養成に関する目的」は教育学部の「目的」に「高度な専門性によって指導的な役割を担うことのできる」という文言を加える形になっており、その他の記述に比べてやや曖昧な印象を受けます。(評価者 B) |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …… 0名 | |
| 【確認2】 | 学生の受け入れ方針は、理念・目的、教育研究目標を踏まえ、入学時に求める学生像や、修得しておくべき知識等の内容・水準等を明らかにしているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …… 0名 | |
| 【確認3】 | 学生の受け入れ方針と、実際の学生募集方法、入学者選抜の実施方法は整合性が取れているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …… 0名 | |
| 【確認4】 | 学生の受け入れ方針は、周知・公表されているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …… 3名 | |

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票> 第三者評価結果 【教育学研究科】

| | | |
|----------------|-----------------------------|---|
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| 【適切性の 検証体制】 | 適切性の検証体制を明確にしているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| 【検証 プロセス】 | 検証プロセスを適切に機能させているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …… 1名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …… 2名 | ・「成果あり／成果なし」、「計画あり／計画なし」の項目にチェックがありません。検証エビデンスに「〇〇〇〇調査の結果」とあるのもよくわかりません。検証プロセスを適切に機能させるためのシステム、制度を検討してはいかがでしょうか。(評価者 A) ・成果と計画、エビデンスに記入漏れがあります。(評価者 C) |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| 【全体に対するコメント】 | | |

A-6. 学生支援に関する方針

| | | |
|-----------------------------|--|---------|
| 【確認1】 | 学生支援の方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、理念・目的、入学者の傾向等の特性を踏まえた内容になっているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …… 1名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …… 名 | |
| 【確認2】 | 方針に沿って、修学支援、生活支援、進路支援のための仕組みや体制を整備し、適切に運用しているか。 (下記のことが明らかであることに留意する。) | |
| | <修学支援> ・留年者及び休・退学者の状況把握と対処 ・学生の能力に応じた補習・補充教育の実施 ・障がい学生に対する修学支援の実施 ・奨学金等の経済的支援の実施 | |
| | <生活支援> ・学生相談室等、学生の相談に応じる体制の整備、学生への案内 ・各種ハラスメント防止に向けた取り組み | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …… 1名 | |
| 2. ほぼ適切な自己評価がされている …… 名 | | |
| 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 1名 | ・方針が未記入のため、評価できません。(評価者 C) | |
| 【確認3】 | 学生の進路支援は、入学者の傾向等の特性を踏まえながら、進路選択に関わる指導・ガイダンスの実施の点から取り組んでいるか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …… 1名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …… 名 | |
| 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 1名 | ・方針が未記入のため、評価できません。(評価者 C) | |

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票> 第三者評価結果 【教育学研究科】

| | | |
|--------------------|---|---|
| | 学生支援に関する方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、教職員で共有されているか。 | |
| 【確認4】 | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 1名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 1名 | ・ 方針が未記入のため、評価できません。(評価者 C) |
| | 適切性の検証体制を明確にしているか。 | |
| 【適切性の検証体制】 | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | ・ 未記入のため、評価不可。(評価者 A) |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| | 検証プロセスを適切に機能させているか。 | |
| 【検証プロセス】 | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 2名 | ・ 「成果あり/成果なし」、「計画あり/計画なし」の項目にチェックがありません。検証プロセスを適切に機能させるためのシステム、制度を検討してはいかがでしょうか。(評価者 A) |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名 | ・ 学生支援と整合しない内容になっているように思われます。(評価者 C) ・ 成果と計画にチェック漏れがあります。(評価者 C) |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| 【全体に対するコメント】 | | |
| ・ 方針が未記入です。(評価者 C) | | |

A-7. 教員像、教員組織の編制方針

| | | |
|------------|--|---------|
| | 教員像は、教員に求める能力・資質、教育に対する姿勢等を明確にしているか。 | |
| 【確認1】 | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| | 教員組織の編制方針は、組織的な教育を実施する上において、必要な役割分担や規模(人数)、教員の専門分野やスキル構成、責任体制、を明確にしているか。 | |
| 【確認2】 | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| | 教員像・教員組織の編制方針は教職員で共有されているか。 | |
| 【確認3】 | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| | 適切性の検証体制を明確にしているか。 | |
| 【適切性の検証体制】 | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票> 第三者評価結果 【教育学研究科】

| | | |
|--------------|-----------------------------|---|
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| | 検証プロセスを適切に機能させているか。 | |
| 【検証 プロセス】 | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 2名 | ・ 教員像・教員組織の編制方針がまだできていないので、検証プロセスが存在しないということでしょうか。(評価者 A) |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 1名 | ・ 検証方法、成果と計画、エビデンスに記入漏れがあります。(評価者 C) |
| 【全体に対するコメント】 | | |